

雜 報

◎人 事

臺灣總督府醫院醫官 六級俸下賜 (各 通) 敘正八位	花 室 憲 章 (三月三十一日) 横 山 保 中 村 俊 雄 大 林 達 三 永 光 軍 一 郎 (四月一日)
東京帝國大學教授 補東京帝國大學醫學部附屬醫院長 職務俸金八百圓下賜	島 園 順 次 郎 (四月二十五日) 小 坂 昭 男 佐 藤 二 郎 (五月一日)
任陸軍二等軍醫 陸軍二等軍醫 步兵第五十七聯隊附被仰付 岡山醫科大學助教授	佐 藤 二 郎 (五月一日) 濱 崎 幸 雄 (四月二十八日)
本俸八級俸下賜 岡山醫科大學教授	根 岸 博 (五月一日)
本俸六級俸下賜 敘從五位	正六位 杉 山 九 一 (五月一日)

○加賀吳一君は豫て京都府宇治町に於て開業し居られしか今回開業を中止し岡山醫科大學法醫學教室に於て研究に従事せられたり

○光田利三郎君は豫て本縣和氣郡日生町立病院長として勤務し居られしが今般同院を辭し岡山醫科大學稻田内科教室に於て研究に従事せられたり

○高 島 護君は先般岡山縣庭眞郡津田村診療所を辭し本縣川上郡手莊村に於て開業せられたり

◎學位授與

佃毅、城義彰、村上立男、上任定の4君は論文を岡山醫科大學に提出し學位を請求し居られしが佃、城兩君は本年3月6日、村上、上任の兩君は同年3月20日の教授會を通過し前者は本月5日、後者は本月19日孰れも醫學博士の學位を授與せられたり、其の主論文及び參考論文は左の如し

佃 毅 君

主 論 文

大脳皮質及ビ間腦ニ關スル研究

第1編 大脳皮質及ビ間腦ト利尿問題

其1 中樞神經ノ利尿ニ及ボス影響ニ就テ
(本誌第43年第9號ニ發表セリ)

其2 大脳皮質ノ水分代謝ニ及ボス影響ニ就テ
(本誌第45年第3號ニ發表セリ)

其3 視神經床下部ノ水分代謝ニ及ボス影響ニ就テ
(本誌第45年第4號ニ發表セリ)

其4 水分代謝ニ及ボス大脳皮質並ニ視神經床下部ノ關係ニ就テ
(本誌第45年第5號ニ發表セリ)

其5 尾狀核ノ利尿ニ及ボス影響ニ就テ(追テ本誌ニ發表ノ豫定)

第2編 大脳皮質及ビ間腦ト血糖ニ就テ

其1 神經系統ノ血糖ニ關スル知見補遺(日本內科學會雜誌第20卷第9號ニ發表セリ)

其2 神經系統ノ含水炭素代謝ニ關スル知見補遺(日本內科學會雜誌第20卷第11號ニ發表セリ)

參 考 論 文

1. 中樞神經系穿刺ノ血清無機物質ニ及ボス影響ニ就テ(本誌第43年第10號ニ發表セリ)

2. 「ビタミン」B 缺乏時ニ於ケル吸收障礙ニ就テ (山崎喜三郎, 佃毅共著) (日本內科學會雜誌第 20 卷第 11 號ニ發表セリ)
3. 肺結核患者ニ於ケル 2, 3 ノ血液検査成績ニ就テ (原勝巳, 佃毅共著) (本誌第 40 年第 7 號ニ發表セリ)

城 義 彰 君

主 論 文

皮膚ノ血清學的研究

- 其 1 皮膚蛋白ノ臟器特異性ニ就テ (本誌第 44 年第 6 號ニ發表セリ)
- 其 2 經皮免疫ニヨル抗體產生ニ就テ (本誌第 44 年第 7 號ニ發表セリ)
- 其 3 皮膚ニ於ケル局所過敏性反應ニ就テ (本誌第 44 年第 8 號ニ發表セリ)

參考論文

1. 血球凝集反應阻止部ニ於ケル補體結合反應ニ就テ (本誌第 44 年第 11 號ニ發表セリ)
2. 血球凝集反應ニ於ケル抗原竝ニ抗體ノ好適量ニ就テ (本誌第 44 年第 12 號ニ發表セリ)
3. 免疫血球凝集反應ノ阻止現象ニ就テ (特ニ正常血清ノ之ニ及ボス影響) (本誌第 45 年第 2 號ニ發表セリ)

村 上 立 男 君

主 論 文

皮膚科領域ニ於ケル血清蛋白ノ研究

- 其 1 皮膚科領域ニ於ケル血清ノ研究 第 1 回報告 (本年 4 月泌尿器科學會雜誌ニ發表ノ豫定)
- 其 2 同上 第 2 回報告 黴毒ニ於ケル血清蛋白ニ及ボス影響

附. 砒素劑注射ノ血清蛋白ニ及ボス影響
(本年 4 月同上誌ニ發表ノ豫定)

- 其 3 同上 第 3 回報告 火傷ニ於ケル血清蛋白量 (本年 4 月同上誌ニ發表ノ豫定)

參考論文

1. 皮膚科泌尿器科方面ヨリ觀察セル血液「コレステリン」量ニ就テ
 - 其 1 諸種皮膚科疾患ニ於ケル血液「コレステリン」量ニ就テ (本誌第 42 年第 8 號ニ發表セリ)
 - 其 2 血液「コレステリン」量ト淋巴球 (本誌第 42 年第 12 號ニ發表セリ)
 - 其 3 黴毒竝ニ「サルワルサン」注射ノ血液像及ビ「コレステリン」ニ對スル關係ニ就テ (本誌第 43 年第 11 號ニ發表セリ)
2. Darier 氏病ニ就テ (本誌第 41 年第 8 號ニ發表セリ)
3. 進行性指掌角皮症ニ就テ (本誌第 40 年第 10 號ニ發表セリ)
4. 再ビ進行性指掌角皮症ニ就テ (本誌第 42 年第 6 號ニ發表セリ)
5. 輸尿管結石ニ就テ (皆見省吾, 村上立男共著) (治療及處方第 113 號ニ發表セリ)
6. 腎臟結石症ニ就テ (村上立男, 小川壽共著) (日本泌尿器科學會雜誌第 21 卷第 8 號ニ發表セリ)
7. 膀胱結石竝ニ尿道結石症ニ就テ (村上立男, 小川壽共著) (日本泌尿器科學會雜誌第 21 卷第 9 號ニ發表セリ)
8. 2, 3 新「サルワルサン」劑ノ實驗的研究 (本誌第 41 年第 2 號ニ發表セリ)
9. 非注射用驅黴砒素劑 (臨牀醫學第 19 年第 9 號ニ發表セリ)
10. 淋疾ニ對スル「パンセブチン」ノ治驗 (本誌第 44 年第 5 號ニ發表セリ)

上 住 定 君

主 論 文

血清蛋白ノ状態特異性ニ就テ

其 1 沈降反應並ニ補體結合反應ニヨル檢索
(追テ岡山醫科大學歐文業府ニ發表ノ豫定)

其 2 過敏症反應ニ依ル檢索 (追テ岡山醫科
大學歐文業府ニ發表ノ豫定)

參考論文

1. 鳩ノ過敏症 (追テ岡山醫科大學歐文業府ニ
發表ノ豫定)
2. 「ゲルマニン」ノ抗過敏症ニ就テ (追テ岡山
醫科大學歐文業府ニ發表ノ豫定)
3. 高加熱ニヨル乳汁並ニ血清抗原ノ状態變化ニ
就テ (追テ岡山醫科大學歐文業府ニ發表ノ
豫定)
4. 抗大腸菌家兎免疫血清ニヨル海猿逆過敏症ノ
實驗的研究 (追テ本誌ニ發表ノ豫定)

◎柿沼教授在職十年記念祝賀會

豫テ柿沼内科教室に於ては門下生相謀り柿沼教授在職十年記念祝賀會開催の準備中なりしが愈去月29日天長の佳節をトシ同日午後3時より岡山醫科大學大講堂に於てこれが記念式を舉行せり。式は開會之辭に次で會務報告、報恩之辭、記念品贈呈、教授挨拶等ありて終り、直に大學正門内に於て記念撮影をなし、引き続き同學内行餘館に於て茶話會を開き柿沼教授より贈られし教授の寫眞、教室より發表せし業績の目錄等を領ちたり、席上吉田博士の滿洲國視察談あり、それより自動車を連ねて祝宴場なる新花月に到れり時に午後6時、直に祝宴に移り當市一流美

妓連の舞、手踊等に續きて門下生の玄人跣足の餘興數番あり、非常なる盛會裡に午後12時散會せり。當日の來會者は70名の多きに達し、東は神戸、西は廣島、廣島縣能美島、吳、北は松江、鳥取等より馳せ參じ師弟の情誼實にこまやかなるものあり頗る盛大なりき。因に同會に於ては之が記念として教授の講演、臨牀講義等を蒐集し500餘頁より成る記念講演集(第1輯)を刊行し門下生に頒つ筈なり

◎第5回關西高等專門學校
陸上競技大會

岡山醫科大學學友會陸上競技部主催の同會は本月14日午前8時半より同學運動場に於て開催し左の9校參加し第六高等學校優勝したり

姫路高等學校	彦根高等商業學校
松山高等商業學校	高知高等學校
高松高等商業學校	松江高等學校
松山高等學校	第六高等學校
鳥取高等農業學校	

◎第4回關西高等專門學校
庭球大會

岡山醫科大學學友會庭球部主催にて本月14日午前8時半より同會を同學「コート」に於て開催し左記6校參加し松山高等商業學校優勝したり

第六高等學校	松山高等學校
松山高等商業學校	姫路高等學校
大阪高等學校	高松高等商業學校

◎岡山醫學會第350回通常會

同會は本年6月15日午後4時より岡山醫科大學に於て開會の筈なり